



# 住宅産業新聞

Housing Industry News

発行所 住宅産業新聞社  
発行人 阿部 雅敏  
〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8  
ラ・ベルティ新宿1101  
TEL (03)6233-9611  
広告 jutaku@housenews.jp  
<https://www.housenews.jp>  
©住宅産業新聞社 2025

## 《ユーザー版》

# 無 料

# 快適な多世帯住宅を建てよう

## 理想の住まいを実現する工夫を



住まいづくりをお考えの方は、これからの理想の「家庭」のイメージがいろいろ浮かんでくることだろう。家族が健康的で快適に過ごせる家、笑いが絶えない明るい家、使いやすいついキッチンで料理を作り家族みんなで食事を楽しむ家、などなど。そのうちのひとつが、いろいろな世代の家族が集まってにぎやかに過ごすスタイルではないだろうか。親世帯と子世帯が暮らす「二世帯住宅」がよく見かける事例だ。多世帯同居といわれるもので、二世帯同居だけでなく、三世帯同居など、多数の世帯が暮らすことで笑顔の数も増える——そんな家庭のあり方で、暮らしやすさ、子育てのしやすさを実現できた理想的だ。

共働きの子世帯が、比較的自由に時間を使うことができる親世帯で「独自に保有するこの機会にハウスメ」と暮らすことで、子世帯の子育てを親世帯がサポートする。逆に子世帯は親世帯を日々見守る、といった互いの理想の「家庭」のイメージがいろいろ浮かんでくることだろう。家族が健康的で快適に過ごせる家、笑いが絶えない明るい家、使いやすいついキッチンで料理を作り家族みんなで食事を楽しむ家、などなど。そのうちのひとつが、いろいろな世代の家族が集まってにぎやかに過ごすスタイルではないだろうか。親世帯と子世帯が暮らす「二世帯住宅」がよく見かける事例だ。多世帯同居といわれるもので、二世帯同居だけでなく、三世帯同居など、多数の世帯が暮らすことで笑顔の数も増える——そんな家庭のあり方で、暮らしやすさ、子育てのしやすさを実現できた理想的だ。

共働きの子世帯が、比較的自由に時間を使うことができる親世帯で「独自に保有するこの機会にハウスメ」と暮らすことで、子世帯の子育てを親世帯がサポートする。逆に子世帯は親世帯を日々見守る、といった互いの理想の「家庭」のイメージがいろいろ浮かんでくることだろう。家族が健康的で快適に過ごせる家、笑いが絶えない明るい家、使いやすいついキッチンで料理を作り家族みんなで食事を楽しむ家、などなど。そのうちのひとつが、いろいろな世代の家族が集まってにぎやかに過ごすスタイルではないだろうか。親世帯と子世帯が暮らす「二世帯住宅」がよく見かける事例だ。多世帯同居といわれるもので、二世帯同居だけでなく、三世帯同居など、多数の世帯が暮らすことで笑顔の数も増える——そんな家庭のあり方で、暮らしやすさ、子育てのしやすさを実現できた理想的だ。

### 多世帯住宅特集

#### 編集部からのお願い

この新聞は、マイホーム購入や賃貸経営等をお考えのユーザーの皆様向けに無料で配布しているフリーペーパーです。貴社・貴所にご来店されるお客様にご自由にお取りいただける場所に置いていただければ幸いです。また、お届けする部数を増やすなどのご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いします。

問い合わせ先 住宅産業新聞社  
TEL : 03-6233-9611  
jutaku@housenews.jp

# Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

もっと高く、もっと速く。

何と競っていたのだろう。

世界が成長することは、二酸化炭素を出すことでした。

ここから変わる。

木から離れた人間は、もう一度木に戻る。

二酸化炭素を減らすには、木の力が本当に必要だから。

森と良き隣人になろう。

木の力と人の力で、互いに長く生きてみよう。

それは今あなたが思う幸せに、

案外近いのではないだろうか。

木と生きる幸福

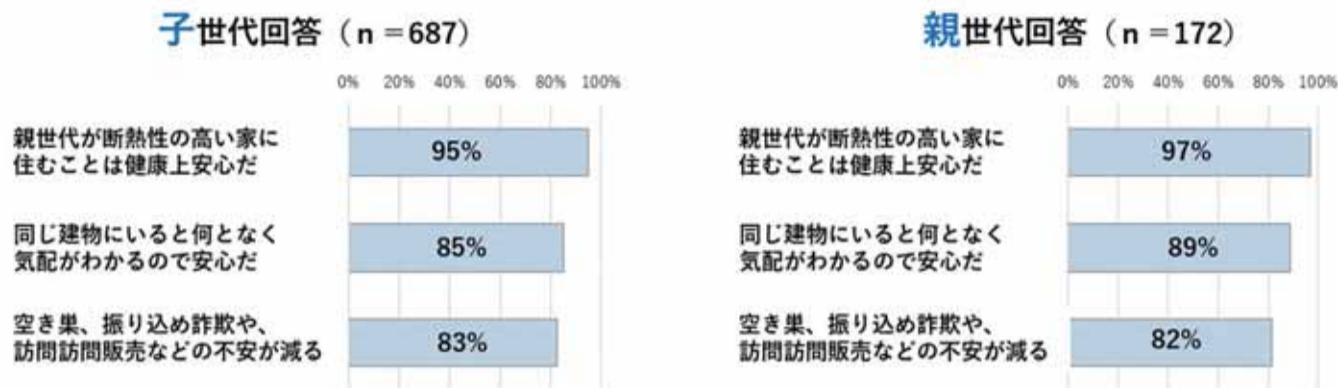
 住友林業

## 旭化成ホームズが親子同居に関する調査実施

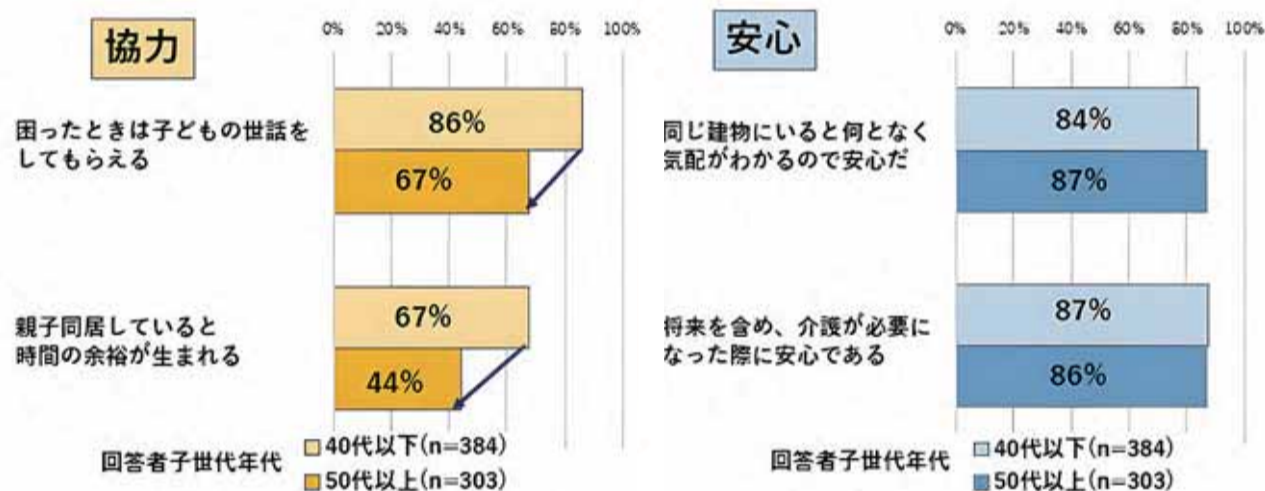
多世帯住宅の中でも一般的な同居形態である二世帯住宅。1975年に住宅メーカーとして初めて「二世帯住宅」を商品化した旭化成ホームズでは、発売から50年を迎えたことを機に、「親子同居のくらしと意識」に関する調査（2024年10月）を実施、今年2月に結果を公表した。調査結果を見ると、親世帯との同居理由については、「親世代の老後を考えて」が62%で一番多かった。次いで「何かあった時に助け合えるから」54%、「親世代だけでは何かと心配なので」36%、「配偶者や自分の育った土地に愛着があるから」「建設時の経済負担が少ないから」が共に34%、などが続く。

70年代には「夫が長男だから」37%、「当たり前の事だから」35%、（経済企画庁調査）と核家族化が進んでいる中での意識が高く、2005年では保育所待機児童問題などを背景に「家事育児等で協力しあえるから」48%、19年調査では11年の東日本大震災を契機に「何かあった時に助け合えるから」が47%でトップだった。今回の結果は、団塊世代がすべて後期高齢者となり、超高齢社会が進行する中、親の介護やサポートがますます重要とされるようになった背景がある、と分析している。

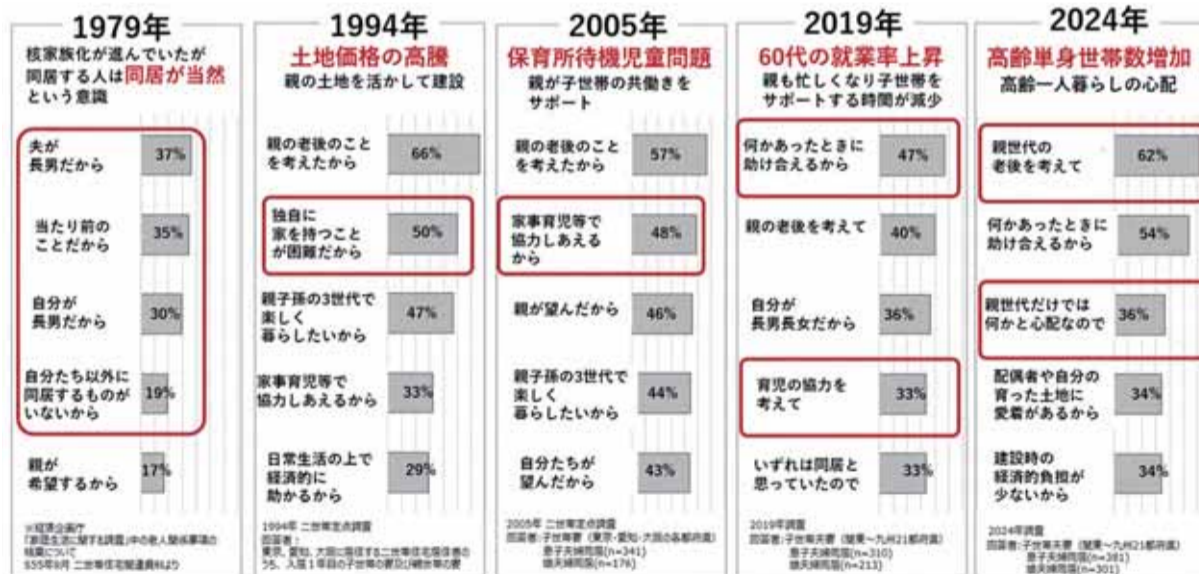
### 子世代・親世代の同居の実感：「安心」面



### 子世代の年代別に感じる親子同居の実感：「協力」と「安心」



### 1979年から2024年の子世代の同居の理由の推移（上位5位）



# 同居メリット親・子世代共「一緒に住む安心感」

## 50代以上の子世代「協力面」は減少に

親世代に同居での実感を聞いたところ、①「断熱性の高い家に住むことは健康上安心だ」97%、②「同じ建物にいて何となく気配がわかるので安心だ」89%、③「空き巣、振り込め詐欺や訪問販売などの不安が減る」82%が高いポイントとなり、子世代でも①95%、②85%、③83%と親世代同様に高い数字となった。両世代共に「安心感」を実感していることがわかる。

また、子世代の年齢別にみると、40代以下は「困った時は子供の世話をしてもらえる」や「親子同居していると時間の余裕が生まれる」など「協力面」でのメリットを感じている一方で、50代以上の子世代は、子供の年齢もあがることで「協力面」のメリットは減少している。

同調査では子世代の同居理由で「土地への愛着」を感じている子世代がいることがわかった。子育て世代がマイホーム取得を検討する際には、子供の教育環境も重要な要素となる。建設費などの経済的なメリットだけでなく、育った土地への愛着を感じて戻ってくる選択をする子世代は、祖父母や親との同居によって家族の絆が深まり、子供たちの成長や教育に良い影響をもたらすことを期待しているの、と分析している。


**三井ホーム**

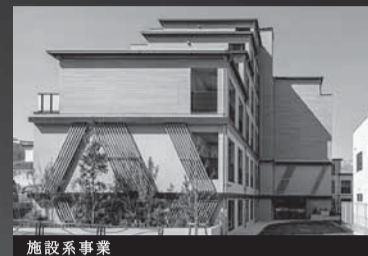

注文住宅事業



セレクト住宅事業



賃貸住宅事業



施設系事業

# 木造は、未来だ。

木造建築の常識を超えて、領域を超えて。三井ホームは木造総合企業へ。

木造の進化を、どこまで加速できるか。三井ホームは木造技術で、新しい領域にチャレンジしつづけています。かつて、震度7を60回という過酷な耐震実験に耐えたプレミアム・モノコック構法をさらに磨き上げ、新しく生まれた「MOCX WALL工法<sup>モクス</sup>」。その強さは、これまでつくれなかった、大規模木造建築をも可能にします。災害に強く、人に優しく、脱炭素にもつながる、そんな木造建築があたりまえになっていくことで、世界はきっと、よりよくなっていくはずだから。木の可能性を信じる三井ホームは、あらゆる建物の木造トランスフォーメーション＝「MOCX<sup>モクス</sup>」を推進していきます。注文住宅、規格住宅にとどまらず、賃貸や施設建築、さらに木材建材事業やリフォーム事業、海外事業まで。あらゆる領域を手掛ける木造の総合企業へと進化する、三井ホームにご期待ください。

# MOCX



木材建材事業



オーナーサポート・リフォーム事業



海外事業

**& EARTH with WOOD**

 さあ、街から未来をかえよう  
**三井不動産グループ**  
 MITSUI FUDOSAN GROUP

お問い合わせは ☎ 0120-81-2431



三井ホーム株式会社 本社 〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-6 新木場センタービル9階

多世帯住宅、特に親・子世帯による二世帯同居のメリットが「一緒に住む安心感」などであった一方、親子同居は御免だ、と考えるユーザーも当然いるだろう。「空き家買い取り隊」が今年6月に既婚男女500人を対象に「二世帯住宅に住みたくない理由」を調査した。

結果のトップは、「気を使うから」で32・6%だった。以下「プライバシーが確保できない」24・2%、「干渉されたくない」17・4%、「親との関係が悪くなる」11・5%、「生活リズムが違う」9・6%と続いた。

「気を使う」と答えた理由として、「二世帯住宅は無理だと思う。自分の親だったらまだ気が楽だけど、義理の親だとそうはいかない。嫌いな細かいことで気を使うし、気疲れするのが目に見えている」(40代男性)、「自分たちの生活エリアに訪問してくるかわからないので、24時間気を抜けないから」(50代女性)などの声が挙がった。その他でも、リラックスできるはずの家なのに、両親・義理の両親に気を使ってしまうことで緊張状態が続いてストレスになる、と答えた人が多数だった。

気を使う具体的なシーンでは、「上下階に分かれ自分たちが上の階だと、足音がうるさくないか気を使う」、「外出する時、誘ったほうがいいのか悩む」などが挙げられた。

## 二世帯住宅に住みたくない理由

n=322(複数回答)上位5位



※「空き家買い取り隊」調査



# 二世帯住宅に住みたくない理由「気を使う」がトップ

2位の理由「プライバシーを確保できない」では、具体的な声として「プライバシーが気になり、夫に甘えたくても甘えづらいと思う」(20代女性)、「外出する時など、嫌でもお互いの行動がわかるから」(30代女性)など。3位の「干渉されたくない」の声としては、「二世帯住宅に住むと、義母の干渉がひどくなるのが目に見えているので、絶対に一緒に住みたくない」(30代女性)や「親から口を挟まれそうで嫌」(50代男性)など。干渉されたくない内容では「育児の方針」が多く、夫婦間の家事分担も挙げられた。4位の「親との関係が悪くなる」では、「両親と祖母と一緒に住んでいるが、見ているといつも喧嘩してストレスを抱えているよう。自分も将来両親と一緒に住んだら喧嘩になってしまふ、と思いたくない」と考えてしまう(20代男性)。5位の「生活リズムが違う」では、「人によって生活リズムが違うので、寝ている時に物音が聞こえるなどの問題が多くありそうだと思う」(20代女性)、「どんなに仲が良くても、実の親だとしても、長期にわたって別で生活をしていたのに、どうしても生活リズムが合わないと思うから」(40代女性)などの声が挙がった。

以上の結果から、二世帯住宅に対し「自分の自由や心の安定が脅かされる」という懸念が根底にあるのでは、と分析している。

# HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、  
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、

1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、

マンションから賃貸住宅へ、

戸建住宅からマンションへ、

ライフステージや目的に応じて住み替える人も

いらっしやいます。

住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、

住まいを合わせていく。

そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、

わたしたちは、家族のこと、

資産のこと、社会のこと

あらゆることを考え抜き、最適な答を

ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先

下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。

TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)

FAX: **03-6899-3400**

✉ [j-koho@om.asahi-kasei.co.jp](mailto:j-koho@om.asahi-kasei.co.jp)

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105

神保町三井ビルディング7階

旭化成ホームズ株式会社 広報室

※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを  
ご覧ください。

[https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html/?link\\_id=AH\\_footer28](https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html/?link_id=AH_footer28)

## 住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。  
良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

## ハーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを  
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

## ストックハーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する  
もうひとつの住まいの選択肢です。

## 部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。  
暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

## ハーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を  
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

## ハーベルVillage<sup>ヴィレッジ</sup>

介護施設ではなく、自立して暮らせる  
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

## 土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて  
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

## ハーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な  
賃貸住宅経営。  
狭小の住宅地から大規模な  
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅 (シニア向け)

## ハーベルVillage<sup>ヴィレッジ</sup>

超高齢社会のニーズを捉えた  
賃貸住宅経営。  
土地活用をととして社会に  
貢献できます。



中高層ビルディング

## ハーベルビルズ

最大8階建ての中高層  
ビルディングの賃貸経営。  
賃貸マンション・店舗・  
オフィスなどへ展開可能です。

# さまざまな家族の住まい方提案



## シェルウォールが包む 余白ある静かな邸宅

旭化成ホームズが提案する「RATIOUS RD 余白の在る家」は、2階建て邸宅専用躯体（重鉄制震・デュアルテックラーメン構造）による大きな「シェルウォール」を導入することで、外部の視線を遮りながらも自然を取り込み、プライバシーとの中間領域を創出。そこに3つの「間」——「縁の間（えんのま）」「光の間（こうのま）」「青の間（あいのま）」——を設け、余白を生み出している。「縁の間」は、縁側や濡れ縁を現代的に再構成した半屋外空間。シェルウォールと屋根に囲まれたこの場所は、外からの視線を遮りながらもカーテンを開けて過ごせる安心感があり、リビングの延長としても機能する。屋外でありながら生活空間の一部として、心地よい居場所を提供する。

旭化成ホームズが提案する「RATIOUS RD 余白の在る家」は、2階建て邸宅専用躯体（重鉄制震・デュアルテックラーメン構造）による大きな「シェルウォール」を導入することで、外部の視線を遮りながらも自然を取り込み、プライバシーとの中間領域を創出。そこに3つの「間」——「縁の間（えんのま）」「光の間（こうのま）」「青の間（あいのま）」——を設け、余白を生み出している。「縁の間」は、縁側や濡れ縁を現代的に再構成した半屋外空間。シェルウォールと屋根に囲まれたこの場所は、外からの視線を遮りながらもカーテンを開けて過ごせる安心感があり、リビングの延長としても機能する。屋外でありながら生活空間の一部として、心地よい居場所を提供する。

旭化成  
ホームズ

ラティウ  
ス—RD  
余白の在る家

家族の声や響き合う家——住友林業の平屋商品「GRAND LIFE（グランドライフ）」はそんな家だ。住友林業ならではのBF（ビッグフレーム）構造は大きな窓と高い耐震・断熱性を両立させ「快適」「安心」「省エネ」を兼ね備える。脱炭素社会に向けて建築時も暮らしの中でもCO2排出を抑え、ランニングコストを低減する仕組みだ。

さらに、生活空間にはオークやチェリーの銘木を生かした木質内装部材を提案。23パターンのスタイルを揃え、1邸ごとのトータルコーディネートが可能にしている。

平屋ならではのメリットは家事動線にも表れる。洗濯物を1階で洗い、干し、取り込み、収納するまでがワンフロアで完結。上下移動を繰り返す2階建てと比べ、日々の負担を減



## 屋根裏空間を有効利用 1・5階建て「プラスカイ」

間に仕上げる「暮らしを広げるウッドデッキ」は、2023年にキッズデザイン賞の「子どもたちを産み育てやすいデザイン」部門で受賞している。

グランドライフには暮らしを広げる提案がもう一つある。それが「プラスカイ」だ。

屋根裏空間を活用し、平屋にプラスすることで1・5階建ての空間を生み出す。例えば、建ぺい率の制限が厳しい地域でも平屋を基本として、床面積をプラスできるし、新築時は家族共用のスペース、成長に合わせて子ども部屋に。子どもが巣立った後には趣味の部屋として使用するなど、ライフスタイルの変化に合わせて多目的に使える新しい空間提案だ。

住友林業

グランドライフ

## ポラスの分譲住宅



森空の舞台-柏-【モリソラのステージ】撮影日：2025年8月  
※一部加工を施しています。

# 休日は、 ポラスを歩こう。

家探しをはじめたら、街歩きをしてみてください。

あんな街やこんな街。ポラスは暮らしの価値観でデザインしているから、自分に合う街を歩くと、自然と暮らしのイメージがふくらみます。それは、どこで暮らす？じゃなく、どう暮らす？の家探し。気軽に、お散歩気分で、想いにマッチする街を見つけにきてください。

📍 会話がはずむ街



📍 休日を過ごしたくなる街



📍 ふれあって育つ街



ポラスの分譲住宅



2025.10.1(水)～11.30(日)



住まい価値創造企業

**POLUS**  
ポラスグループ

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷 1-21-2 048-989-9151

# さまざまな家族の住まい方提案

## 積水ハウス

## ライフニットデザイン

積水ハウスが提案する「life knit design（ライフニットデザイン）」は、施主の感性に寄り添い、暮らすほどに愛着が深まる住まいと出会うためのデザイン提案システム。細分化された趣向に対応するだけでなく、時に施主自身も気づいていない潜在的な好みを引き上げる、新たな手法である。

モダンといったテイスト分類ではない、独自の「6つの感性ワールド」を設定して、「静PEACEFUL」「優TENDER」「凛SPIRIT」「暖COZY」「艶LUXE」「奏PLAYFUL」の6テーマを軸に、空間の雰囲気や色味、素材、肌触りといった印象を言語化し、設計・営業スタッフと施主がイメージを共有できる。



## 感性を照らす6つの軸 住まいと出会う納得設計

たとえば「静」は派手さを抑え、静寂を感じさせる素材で「内的な豊かさ」を表現。「暖」は懐かしいぬくもりと、時を重ねる趣を味わう暮らしを描く。「艶」は気品と贅沢さを追求して、ラグジュアリーな空間を演出する。こうした感性の言語化は、施主の内面にある「好き」や「心地よさ」を丁寧に引き出し、空間づくりの出発点となる。

各ワールドに合わせた素材を実際に手に取り、色彩や質感を体験できる場も設けられており、施主の感性を共有しながら、空間の方向性を明確にしている。施主の考えが自然にまとまり、納得感のある住まいづくりが可能となる。

エクステリア提案も、街並みや緑との調和を重視。日本カラーデザイン研究所との共同研究により生まれたオリジナル外壁色は、上品で優しいグラデーションを実現し、美しい住宅ストックの形成に貢献している。一棟としての美しさだけでなく、街並み全体の調和を意識した設計思想が息づいている。

2024年春には、モデル棟「HUE（ヒュー）」が国際的な「iFデザインアワード」の建築部門「iFデザイン賞」を受賞。ライフニットデザインは、あなたの「好き」をすくい上げて、自然と惹かれるもの、つい夢中になることを手がかりに、暮らすほどに愛着が深まる住まいを作り上げる。



## 重厚感ある大屋根の 安心快適な未来住宅

ミサワホームの「スマートスタイル」が可能だ。また、大屋根を生かして太陽電池の設置を最適化することで、年間を通じて安定した発電量を確保できる。標準搭載した「スマートスタイル」シリーズの中でも、「平屋蔵タイプ」「スキップ蔵タイプ」と比べ、2階から1階まで連続する吹きおろしの大屋根により、より多くの太陽電池の設置がさらに高められる。

このように、自然エネルギーと高効率燃料電池を活用することによって、地球にも家計にも優しい好循環を生み出すことができる。標している。

「創業以来、地震に耐える家づくり」を誇る「平屋蔵タイプ」「スキップ蔵タイプ」は、耐震等級3相当（建築基準法の1.5倍の耐震性）を持つが、耐震性ばかりでなく、高気密・高断熱も折り紙付きで、「LCM（ライフ・サイクル・カーボン・マイナース）」を実現。内装仕上げ材の損傷ゼロを目指す制震装置「MGE O（エムジオ）」も標準装備されており、「レジリエント」かつ「高い環境性」を両立している。

## ミサワホーム

## スマートスタイルルーミエ

電気自動車などの外部電源から給電できる「マルチ入力型ハイブリッド蓄電システム」を導入すれば、大規模災害に備えも万全だ。省エネや安全性はもちろん、室内では小屋根収納やロフト空間を活用するなど、家族の暮らしを充実させる提案も豊富にある。

「2024年度 省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞」を受賞したこの大屋根タイプ。設置効率、空間活用、デザイン性など、総合的なパフォーマンスの高さにメリットを感じる人も多い。

モダンで重厚感のあるデザインも魅力のひとつ。災害時の自立性やスマートライフへの対応力も、これからの住まいにふさわしい。

MISAWA

## 防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

1st  
SAFETY  
SOLUTIONS  
備えるデザイン

2nd  
SAFETY  
SOLUTIONS  
守るデザイン

3rd  
SAFETY  
SOLUTIONS  
支えるデザイン

MISAWA-LCP

備える▶守る▶支える[防災・減災ソリューション]

MISAWA  
Life  
Continuity  
Performance

先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ [www.misawa.co.jp/catalog/](http://www.misawa.co.jp/catalog/)

詳しくはWEBで

検索

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、[www.misawa.co.jp/privacy](http://www.misawa.co.jp/privacy)をご覧ください。

新築事業 | スtock事業 | まちづくり事業 | 海外事業 | ウエルネス事業

MISAWA **ミサワホーム**

# さまざまな家族の住まい方提案



## 強靱な壁が生み出す 解放感がある住空間

家族の「好き」を  
りばめた住まいは、暮  
らしの楽しみをどこま  
でも広げてくれる。

さらに、モクスウォール工法が生む大開口は、まばゆい光と景色を取り込む。四季の移ろいを美しく映し出し、自然の豊かさを感じさせてくれる。開放的なリビングで家族と語らう時間も格別。重厚感あるモダンな外観に包まれ、優雅なひとときが流れる。心を開放するプライベート空間やスムーズな家事動線、空間アレンジの楽しさも魅力だ。

三井ホームの「MOCKS WALL（モクスウォール）工法」は、日本のツーバイフォー住宅市場をけん引してきた同社が、耐震性・耐火性・断熱性といった基本性能をさらに高め、設計の自由度も大きく広げた工法だ。環境負荷の少ない中大規模木造建築へのニーズに応え、同社が開発した壁倍率30倍相当の高いフラットな天井や

ウォール工法にも引き継がれている。枠組材と面材が一体化したモノコック構造により、地震の揺れを分散し、建物全体で吸収することで優れた耐震性能を発揮。耐火性では、高い密閉性ゆえに火や煙が他の部屋に侵入しにくく、延焼を抑え、ファイヤーストップ材が火の通り道を遮断して躯体損傷を防ぐ。家全体を断熱材で包み、断熱等級6に対応。内外ダブル断熱による断熱等級7仕様も用意されている。

### 三井ホーム

## モクスウォール工法

## 「やっぱり多世帯住宅はいいなあ」

### 【編集部発】ジージの4世代同居レポート

今年の5月末に娘が出産し、私に初孫ができた。元々、私の自宅が築30年ながら二世帯住宅（孫が生まれた当時は母と私たち夫婦の3人暮らし）なので、妊娠が伝えられた時には、娘が実家に戻って子育てするだろうと思っていた。

しかし義理の息子も育児休暇を取るというので、娘夫婦は現住居での育児を選択し、親子3人での新生活を始めた。義理の息子の育児休暇中は2人で協力して何とか、初めての子育てに奮闘していたようだ。この頃は、私たちも写真が送られてくる度に「かわいいね」と相手を崩した。

しかし育児休暇が1カ月で終わり義理の息子が職場復帰するやいなや、娘から「実家に帰って子育てしたい」という「泣き」の連絡が入ることに。やはり育児のワンオペレーションが増え、どうにもならなかった様子だ。こちらは油断しており、ほぼ物置化されていた娘の部屋を慌てて片付けた。何とか親子3人で眠れるだけのスペースを確保し、7月の半ばから4世代にわたる生活がスタートしたのであった。

孫が成長する姿を間近で見るとは、この片付けた。何とか親子3人で眠れるだけのスペースを確保し、7月の半ばから4世代にわたる生活がスタートしたのであった。



# 積水ハウスは、 「長く住み続けたい家」へ

これからの時代、  
本当に必要なものってなんだろう。

そんな思いから、安全や環境に配慮した  
「長く住める家」を供給してきた積水ハウスでは、  
新たなデザイン思想「life knit design (ライフ ニット デザイン)」に  
基づく家づくりを進めています。

何が好きか、何に惹かれるか、何を心地よいと感じるか。  
そんな一人ひとりの“感性”を住まいへと編み込み、  
暮らすほどに愛着が増していく「長く住み続けたい家」。

季節の移ろいを感じながら暮らせる住まいは、  
人生に豊かさを与えてくれる  
感性の器のような場所にもなりうる。

そう信じる私たちは、この新しい家づくりを通して、  
グローバルビジョン「「わが家」を世界一幸せな場所にする」を  
実現していきます。



life knit design

<https://www.sekisuihouse.co.jp/kodate/lkd>

